

ニュースリリース

2000 年 9 月 7 日

国内B to B電子商取引に必須となる 汎用の標準EDIデータ変換ソフト「Biware CIItranser」を新開 発！

通信ソフトの開発メーカーである株式会社インターコム（〒110-8654 東京都台東区北上野 1-10-14 住友上野ビル 5 号館、TEL：03-3842-6011、資本金 7,500 万円、高橋啓介社長）はこのほど、国内のB to B（企業間）電子商取引システムで欠かすことのできない取引データを、各企業ごとの独自データフォーマットから国内の標準EDIデータに変換できる、汎用のEDIデータ変換ソフト「Biware CIItranser」（バイウェア シーアイアイトランサー）を新開発、9月27日より出荷開始します。

企業間でのB to B電子商取引は、在庫削減や仕入れ価格の低下、人件費の削減などの具体的な効果を短期間で期待することができ、多くの業界で経営を合理化させる手段として注目されています。各企業は自社で完結するビジネスの場合には、独自の伝票や書類を業務に使用することができますが、企業と企業の間で電子商取引を行うには取引先の相手と伝票や書類のフォーマットを統一することが必要となります。このため、日本国内では平成3年4月に（財）日本情報処理開発協会 電子商取引推進協議会によりEDIを標準化するためのCIIシンタックス ルール（通称「CII標準」）がまとめられ、建設／電子機器／コンピュータ／物流／……などの多くの業界で採用されています。このCIIシンタックス ルールを利用することで、これまで社内で使用していた独自フォーマット（ローカル フォーマット）を標準的なフォーマット（CII標準フォーマット）に変換できます。他社と取引をする時には業界ごとに定められたCII標準ファイルを利用し、社内の業務では従来と同じ独自フォーマットを使用することができます。エンドユーザーは作業のやり方を変えることなく、短期間でオープンな企業間EDIシステムを構築することが可能となります。

「Biware CIItranser」は、企業の独自フォーマットのファイルとCII標準ファイルを双方向に変換するために開発された、非常に簡単な操作で利用できるWindowsベースの汎用ソフトウェアです。既に販売されているJCA手順、全銀協手順、全銀TCP/IP手順、BSC手順などの業務通信を実現する「Biware」シリーズで構築された企業間EDIシステムなどに組み込んで、業界ごと・企業ごとに汎用の双方向ファイル変換機能（ミドルウェア）を提供することができます。

ユーザーは取引先にデータを送付する際、自社内で使用している独自フォーマットを「Biware CIItranser」に通してCII標準フォーマットに変換してから送信します。反対に、取引先から受信したデータはCII標準フォーマットになっているため、「Biware CIItranser」を通して独自のローカル フォーマットに変換してから企業内で利用することになります。この操作は「Biware CIItranser」に専用のAPI（アプリケーション プログラミング インターフェース）が搭載されているため、自社で開発したシステムから呼び出して簡単に実現できるようになっています。

製品名 : 「Biware CIItranser」 (バイウェア シーアイアイトランサー)
対応パソコン : DOS/Vパソコン、PC98-NXシリーズ、PC-9821シリーズ
対応 OS : Microsoft Windows 98/95、Windows Me
Windows NT 4.0、Windows 2000 Professional /Server
価格 : 14万円
販売開始日 : 2000 年 9 月 27 日
初年度販売目標 : 2,000 本
販売方法 : (株) インターコム総販売元である (株) インターソフトより全国販売
